

平成24年度北広島町公民館ネットワーク会議(研修)

「住民の学習ニーズ把握の必要性とその手法」

目標：住民の学習ニーズ把握の必要性とその手法を理解する。

ぱれっとひろしま 広島県立生涯学習センター 研修用資料

社会教育調査とは

生涯学習推進計画, 社会教育計画

客観的なデータを根拠とすべき

- ◆ 地域の現状に関する資料
- ◆ 住民の学習ニーズに関する資料
- ◆ 地域の教育要請に関する資料

社会教育調査

調査についての学習は、実施のためだけでなく、結果を読み取り、活用するためにも必要です。



社会教育調査の例

国が行う社会教育調査

The screenshot shows a web browser window displaying the page '社会教育調査-調査の概要' (Social Education Survey - Survey Overview) on the Ministry of Education website. The page title is '社会教育調査-調査の概要' and the URL is 'http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa02/shakai/gaiyou/chousa/1268405.htm'. The page content includes a navigation menu with 'お知らせ', '政策について', '白書・統計・出版物', '申請・手続き', and '文部科学省について'. The main heading is '社会教育調査-調査の概要'. Below it, there are sections for '調査の目的' (Purpose of the Survey) and '調査の沿革' (History of the Survey). The '調査の目的' section states: '社会教育行政に必要な社会教育に関する基本的事項を明らかにすることを目的とする。' (The purpose is to clarify basic matters related to social education necessary for social education administration.) The '調査の沿革' section has a link: '文部科学省ホームページより 実施' (From the Ministry of Education homepage, implementation).

- 目的
社会教育に関する様々な施策のための基礎資料を得る。
- 実施
昭和30年度から3年ごとに行われており、今回は平成23年10月1日現在で実施(18回目)

学習ニーズとは

「〇〇の学習がしたい」といった学習に対する欲求や願望

学習内容に対して、 学習方法に対して、
学習場所に対して、 学習目的に対して、
指導者に対して

自主性

主体性



ふだんから自覚している**顕在的ニーズ** と
他からの手がかりで初めて意識される**潜在的ニーズ**を把握



統計的方法と事例的方法

◆統計的方法(量的)

全体の傾向を
数値によって記述

◎調査結果を比較しやすい。

▲調査対象に合わせて調査内容や方法を変えることが難しい。

◆事例的方法(質的)

いくつかの事例の特徴を
文章表現によって記述

◎対象に合わせて調査内容や方法を自由に変えられる。

▲客観的な比較が難しい。

学習ニーズを把握する方法

- 職員等の経験や勘の活用
- 住民企画型講座の実施
- 調査の実施

立案のプロセスで
出た意見など

既存統計資料の分析

アンケート調査

インタビュー

観察

ドキュメント分析

質問項目による聞き取り

講座を観察して記録

感想を記録した文集や新聞記事などを分析

地域の教育要請の把握

- 社会教育計画の立案や学習プログラムの開発を行うにあたって

住民の学習ニーズ(個人の要望)と
地域の教育要請(社会の要請)の
バランスに配慮する。



顕在化しにくいいため、地域活動に取り組むリーダー層(役員さんなど)を対象にした調査等で把握

データの例

(例)高齢社会に対応する学習に関して

- 高齢者人口や高齢化率
- 高齢者の学習について
- 市町の総合計画
- 国の機関による調査
- 市民団体の活動
- 市民センターでのサークル活動
- 市民アンケート
- 高齢者福祉計画, 地域福祉計画等

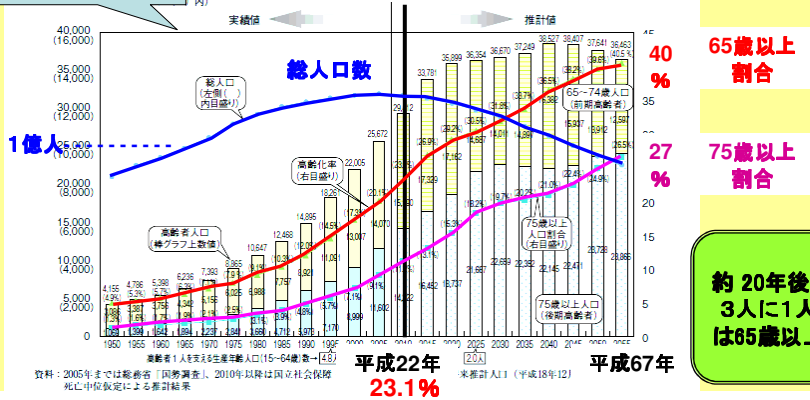
高齢化の進展

高齢化社会とは・・・

総人口に対する
高齢人口(65歳以上)割合が **7%**

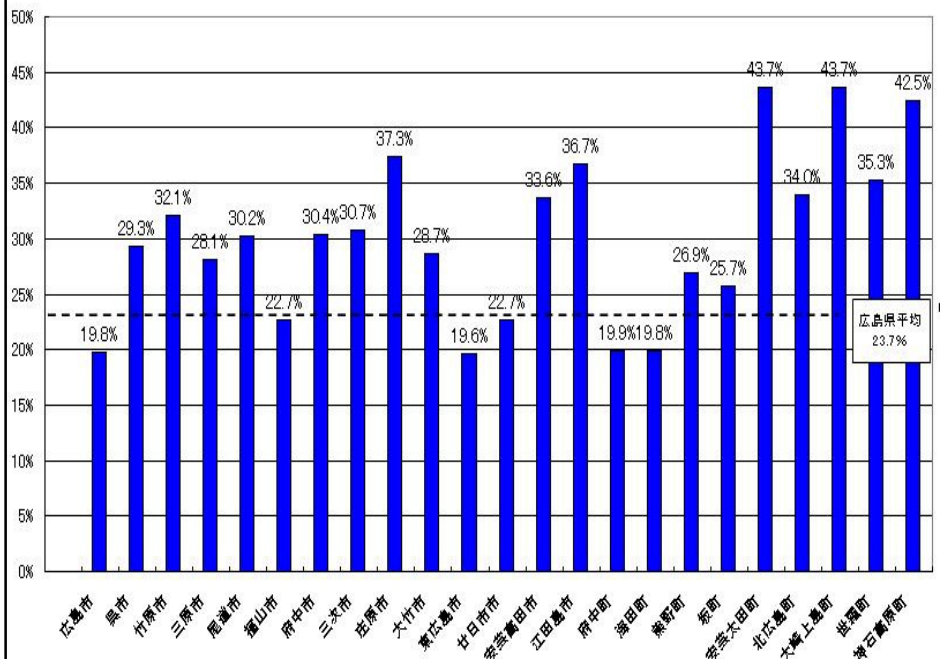
14%以上を**高齢社会**という。(注:一般に)

高齢化の推移と将来
推計(平成22年度高
齢社会白書より)

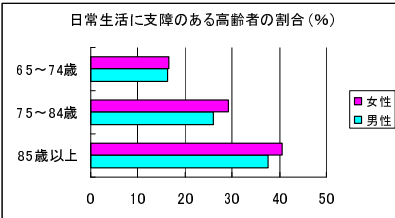


**65歳以上
割合**
27%
**75歳以上
割合**
**約20年後,
3人に1人
は65歳以上**

広島県の高齢化率(平成23年3月31日現在)



高齢社会を前向きに捉える



65～74歳で日常生活に支障のある人は約16% (平成19年調査)

豊かな経験と知識

自由時間の活用

心の豊かさ、多様な価値観

第5章 高齢社会に対応する教育の在り方

(1) 高齢社会の展望と高齢社会に対応する教育の基本的な考え方

高齢社会については、(中略) 様々な問題が生じる可能性が指摘され、消極的な側面が強調されがちである。しかしながら、一方、高齢社会については、社会の第一線を退いた後、**自由時間の活用により、生きがいを持って人生を謳歌することができたり、豊かな経験と知識を持つ高齢者が、社会に参加・貢献することができる**など、積極的な面を持っており、高齢社会を迎えること自体は前向きにとらえるべきことと考える。

「21世紀を展望した我が国の教育の在り方について (第二次答申)」平成9年、中央教育審議会

私たちが目指す高齢社会とは

● 高齢社会対策基本法

(基本理念)

第二条 高齢社会対策は、次の各号に掲げる社会が構築されることを基本理念として、行われなければならない。

- 一 **国民が生涯にわたって**就業その他の**多様な社会的活動に参加**する機会が確保される公正で活力ある社会
- 二 **国民が生涯にわたって社会を構成する重要な一員として尊重**され、地域社会が自立と連帯の精神に立脚して形成される社会
- 三 **国民が生涯にわたって**健やかで**充実した生活を営む**ことができる豊かな社会



生きがいのある充実した生活を実現するため、学習機会の整備、社会参加の促進が求められています。

北広島町長期総合計画—「新田園文化のまち」宣言—

●第3編 基本計画

第3章 健康で安心して暮らせるまちづくり

第2節 豊かな高齢社会の形成【具体的施策】

1 社会参加の促進・生きがい活動の推進

(3) 世代間交流の促進

(4) 学習・趣味・スポーツ活動の機会の充実

第4章 ともに学び ともに輝くまちづくり

第2節 第1項 生涯学習の推進【具体的施策】

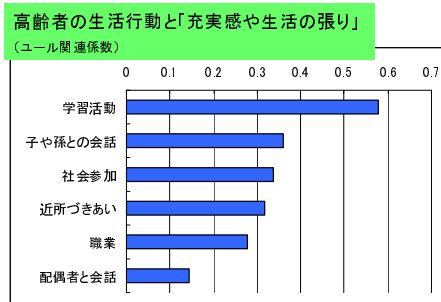
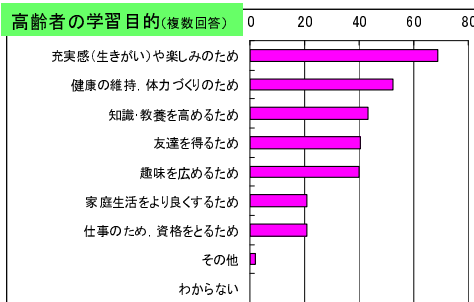
2 魅力ある多彩な学習機会づくり

(2) 生涯の各時期やニーズに応じた学習機会の提供



高齢者がいきいきと暮らせるよう、高齢者の生きがい活動を促進することが求められています。

教育の役割



●高齢社会対策基本法

(学習及び社会参加)

第十一条 国は、国民が生きがいを持って豊かな生活を営むことができるようにするため、**生涯学習の機会を確保**するよう必要な施策を講ずるものとする。

2 国は、**活力ある地域社会の形成**を図るため、**高齢者の社会的活動への参加**を促進し、及び**ボランティア活動**の基盤を整備するよう必要な施策を講ずるものとする。

2つの捉え方

高齢社会への対応

- ・高齢社会をどう生きるか
- ・時間の活用
- ・情報の活用
- ・家族や地域のつながり

世代間交流

- ・世代を越えた理解
- ・ふれあい、交流
- ・「開かれた学校」
- ・学校と地域のつながり

高齢期の学習

- ・世代を越えた理解
- ・ふれあい、交流
- ・「開かれた学校」
- ・学校と地域のつながり

高齢準備期

- ・退職後の生活準備
- ・地域活動への参加
- ・社会的自立
- ・余暇時間の活用

参考資料

- 「社会教育計画」山本恒夫・蛭田道春・浅井経子・山本和人編，文憲堂，平成19年
- 「社会教育調査ハンドブック第3版」国立教育政策研究所社会教育実践研究センター，平成20年
- 「社会教育指導者の手引き『高齢社会と学習』」国立教育会館社会教育研修所，平成11年
- 高齢社会白書 <http://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/index-w.html>
- 広島県高齢化率のデータ <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/63/1279598930406.html>
- 中教審答申「21世紀を展望した我が国の教育の在り方について」 http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/old_chukyo/old_chukyo_index/toushin/1309655.htm
- 北広島町長期総合計画―「新田園文化のまち」宣言―，平成19年